

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-29 □支 援 部 門 運営事業(下水道特会)									
主管課	都市整備総務課				関連課	部内関連各課				
分野名	下水道・河川									
目標 (目標値)										
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備 考					
	人 口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯						
	事業の対象者数									
運営資源 状 況	決算値(千円)	46,350	47,744	41,718						
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	46,350	47,744	41,718						
	人員配置数	1.0	1.0	1.0						
	人 件 費(千円)	8,889	9,291	9,367						
	協 働 の パートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	55,239	57,035	51,085						
	市民1人当 りの経費(円)	312	323	289						
	対象者1人 当りの経費(円)									
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名									
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)			
		目標値								
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値								

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。				②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。			
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。				④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。			
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)				⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止			
運営事業	46,350千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	部内の下水道事業特別会計に係る経理・庶務								
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)					
H22年度の課題	下水道事業特別会計に係る庶務や経理を行ううえで適正かつ円滑な部内調整及び事業運営が求められるため、情報の共有化やマニュアルの作成などが必要となる。				
課題解決のための取組	各課の事業の進捗状況について、定期的な報告を求めた他、部内会議時等に連絡するなど状況把握に努めた。				
未解決の課題	下水道使用料の改定や公営企業会計導入の研究等新たな懸案事項への対応について、職員の協力体制などを考えていかなければならない。				
今後の方針	部内各課の相互協力体制を構築し、課題の解決に向け、円滑な業務運営に努める。				
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	B	※ □事業完了	課長名 都市整備総務課長 山田栄一

